

への情報提供は手段としてはどうしても最後になる。

栄小通学区変更に 市民要望は くみ上げられたか

阿部 民子



入学式（栄小学校）

(問) 栄小通学区区域の変更が確定し、20年度（一部19年度）から実施となった。延長審議の理由として情報周知が不十分であったが、延長後どのように行ったか。
(答) 教育部長 審議会開催ごとに各地域・保護者に全て状況を伝え、12回の説明会を開催。
(問) 栄町1区の説明会で自治会長から「この地域の意見は直接聞かれずに結果説明でしかない」との指摘があったが、教育長の

考えは。
(答) 教育長 対象自治会からの審議委員追加など配慮したい。
(問) 地域住民でもある栄小の先生から「学校では職員会議が開かれず、校長に話し合いの場を作るよう指導して欲しい、このことを審議会でも触れて欲しい」と発言があったが、説明会議事録からの削除はなぜか。
(答) 教育長 学校への要望であることを確認し、校長に伝えた。
(問) 栄町8区からの『新1年生は1・2名であり、継続して栄小へ』との嘆願書の対応は。
(答) 教育部長 1・2名でも教室不足の懸念を説明、自治会長を訪問。保護者は納得しないのではとの回答だった。
(問) 新設マンション・サンプレッジの契約済み対象者には吉小か栄小かの選択権について審議会です承されたが、状況は。
(答) 教育部長 1桁の対象児のうち2名が希望。
(問) 栄小の19年度の教室不足の見込みは。
(答) 教育部長 最大の児童増では40人学級の想定もしたが、35人学級で教室不足もない。
(問) この混乱を招いた児童数の誤りについての謝罪はあったが、責任については民間では『損失補填』が当然だが。
(答) 教育長 責任については自覚し、

重く受けとめている。正常な通学区を作る責務がある。

栄小問題 深くお詫びしたい

伊藤 正勝



栄小学校

(問) 栄小問題について、学区審議会運営を含め一連の取り組みをどう反省しているのか。
(答) 教育長 保護者や地域の皆様に対し、報告、情報が行き届かなかったこと、児童数の予測を的確に追求できなかったことから大変ご心配、ご迷惑をお掛けしたことに對し、深くお詫び申し上げます。

(問) 根本は予測数字の間違いにある。14、15年の「第一次学区

審“で使用された数字が16年12月、プレハブ建設予算が組まれた時にもそのまま使用されていないか。
(答) 教育長 14年4月の住民基本台帳をもとに見込み数を予測し、その上でその後の変化を見込んできた。数字の急変は地価下落等により子育て世代が予想以上に転入してきたためと認識している。

JRと吉川新駅の 設置を協議

(問) JR大宮支社長名で新駅設置についての回答書が届いた。どう受けとめているのか。
(答) 市長 新駅設置について協議したいという回答であり、駅設置に向けて最大限の努力をしていきたい。

(問) 回答書のポイントについて伺いたい。
(答) 都市建設部長 武蔵野線は雨や風で度々停まる。現行の二面二線か、二面三線、四線にするのか。19年度の調査設計の実施で明らかになる。その後概略設計、詳細設計、工事は3年程か、まことになる。新駅の用地については、運輸機構が公共用地として提供の方向、武操跡地については、19年度中の都市計画決定が得られると思う。駅舎建設の費用負担の割り合いは運輸機

構と協議中、駅前広場や道路、河川整備等の負担割り合いについても現在協議を進めている。

